



★ ★ ★ 農業ひろさき ★ ★ ★

2011年2月1日
(平成23年2月1日)

(第60号)

編集と発行
弘前市農業委員会

弘前市賀田1丁目1の1

☎(0172) 82-1638

印刷 (有)アサヒ印刷

取引活発 りんご初市



1月5日、りんごの初市が弘果弘前中央青果で行われ、昨年からの高値傾向を維持する活発な取引でスタートしました。今年の初市には、好調な販売環境を期待して前年を約6割上回る15,250箱(20kg入り)が入荷。生産者約1,100人、買参人200人が集まり、競り人の威勢の良い掛け声が響くなか、次々とりんごが競り落とされていました。

農家の直販活動ひろがる 中土手エブリデーマルシェ

農家の直接販売活動の支援や地産地消の推進を図る、本市の産直マルシェ(フランス語で「市場」)事業。今年度最後のマルシェとなる中土手エブリデーマルシェが、12月11日から31日までの間、市内土手町の弘前中央食品市場内で開かれました。



開店にあたり葛西憲之市長は「農家の産直活動を張り巡らすことで地域が活性化し、循環が作られるのではと考える。取り組みを生かして本市の発展につなげていきたい」とあいさつしました。

エブリデーマルシェは、同市場の中ほどにある区画を利用して開店。冬場に市内の2農家が作った白菜やワサビ菜、アスパラ菜、エノキダケなどの新鮮野菜が並び、料理法が書かれたレシピなどが店先を飾りました。今回のマルシェは市が販売員を配置し、野菜の特徴などを伝えながら買い物客に販売していました。

今年度から始まった同事業は、土手町分庁舎敷地内での「軽トラdeタ市」を皮切りに、「かだれdeタ市」(百石町)や「えきまえ市」(駅前)が開かれたほか、中心商店街でも独自に取り組むなど、農家の直接販売活動がひろがりを見せました。

グリーン・ツーリズム活動を実践する農家などによる、活動の活性化に向けた方策を話し合うフォーラムが12月23日、市内賀田の中央公民館岩木館で開かれました。

活性化の方策探る 弘前里山活性化フォーラム開く

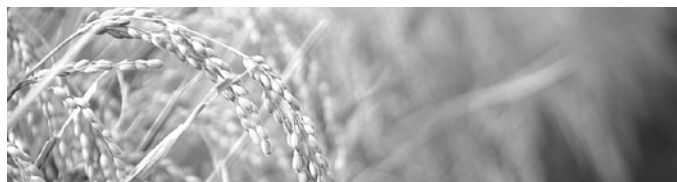
弘前里山ツーリズム(田中幸樹会長主催)のフォーラムには市民約40人が参加。パネルディスカッションでは、農業体験を受け入れる(有)ゆめりんご代表取締役の平井秀樹さんや里山ツーリズム事務局の兼平節子さんなど農家3人と、市側から蛭名正樹農林部長が参加して意見を交わしました。活性化策について平井さんは「受け入れ農家の拡大とともに異業種との連携強化が大事」、兼平さんは「仲間づくりの意識を高めること」と強調したほか、蛭名部長は「活動に関わる人が方向性を同じくすることが必要」と述べていました。このほか、新潟県で活動する「NPOにいがた奥阿賀ネットワーク」の神田昭平事務局長による特別講演も行われ、「今後は『人に会いに来る観光』。地域の人を訪れる必然性を作り出すことが大事」と指摘しました。



パネルディスカッションの様様

農業者戸別所得補償制度について

国は、平成23年度農業経営の安定と食料自給率の向上を図るため、主食用米を対象とした「米の所得補償交付金」と麦・大豆等の畑作物を対象とした「畑作物の所得補償交付金」及び、水田で主食用米から麦・大豆等へ作付転換を進める「水田活用の所得補償交付金」を直接支払いする「農業者戸別所得補償制度」の本格実施を行う予定です。



◎米の所得補償交付金 (別表①)

定額部分	15,000円/10㍏ ⁻
変動部分	23年産米の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合は、「米価変動補てん交付金」を交付します。

◎畑作物の所得補償交付金 (別表②)

交付対象作物	交付単価
小麦	水田 20,000円/10㍏ ⁻ の面積払い又は 畑地 6,360円/60* _{0.25} による数量払の 高い額
	大豆
てん菜	20,000円/10㍏ ⁻ の面積払い又は 6,410円/ト _ン による数量払の 高い額
でん粉原料用 ばれいしょ	20,000円/10㍏ ⁻ の面積払い又は 11,600円/ト _ン による数量払の 高い額
そば	20,000円/10㍏ ⁻ の面積払い又は 15,200円/45* _{0.25} による数量払の 高い額
なたね	20,000円/10㍏ ⁻ の面積払い又は 8,470円/60* _{0.25} による数量払の 高い額

※交付金は、面積払いと数量払を併用し、面積払いを先に支払い、その後、対象作物の販売数量が明らかになった段階で、数量払の額を確定し、追加で支払う仕組みとなります。

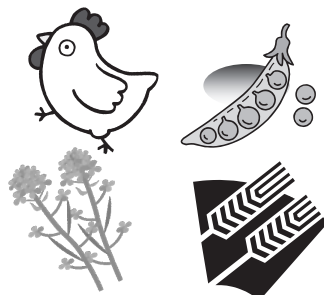
◎水田活用の所得補償交付金 (別表③)

交付対象作物	交付単価
米粉用米・飼料用米・WC S用稲	80,000円/10㍏ ⁻
麦・大豆、飼料作物	35,000円/10㍏ ⁻
そば、なたね、加工用米	20,000円/10㍏ ⁻
その他作物	国の産地資金の予算枠より配分された資金の範囲内で、国と県が対象作物や交付単価等の使途の協議を行い、今後決定される予定です。

◎米の所得補償交付金
 ◆交付対象者 米の生産数量目標に従って販売目的で生産する「販売農家」、
 「集落営農組織」のうち水稻共済加入者、又は平成22年産の販売実績がある方
 ◆交付対象作物 主食用米
 ◆交付対象面積 主食用米の作付面積から自家用米・縁故用米として一律10㍏を控除した面積
 ◆「10㍏当たりの交付単価」別表①のとおり

◎畑作物の所得補償交付金
 ◆交付対象者 対象作物の生産数量目標に従って販売目的で生産する「販売農家」、
 「集落営農組織」のうち畑作物共済加入者、又は販売実績がある方
 ◆交付対象面積 対象作物の22年産の生産面積、又は23年産の販売数量に基づき交付
 ◆交付対象作物及び面積払い(10㍏当たり)の交付単価、数量払の交付単価(全国一律)別表②のとおり

◎水田活用の所得補償交付金
 ◆交付対象者 水田において、米の「生産数量目標の達成」にかかわらず、販売目的で、対象作物を生産する「販売農家」、
 「集落営農組織」
 ◆「交付対象作物及び10㍏当たりの交付単価(定額)」別表③のとおり



◎その他加算措置等
 農業者戸別所得補償制度では、次の加算支払もいたします。
 ◆規模拡大加算 農地利用集積円滑化事業により、面的集積(連担化)した場合、利用権設定した面積10㍏当たり2万円を交付します。
 ◆品質加算 畑作物について、数量払の交付単価を品質に応じて増減します。
 ◆再生利用加算 畑の耕作放棄地を解消し、麦・大豆、そば、なたねを作付けた場合に、10㍏当たり一

定額(2万円から3万円)を最長5年間交付します。
 ◆緑肥輪作加算 畑地に地力の維持・向上につながる作物を栽培してすき込む場合(休閑緑肥) 10㍏当たり1万円を交付します。
 ◆集落営農の法人化支援 集落営農が法人化した場合、40万円を定額で交付します。
 □交付を受けたい方は、まず、加入の申し出を
 交付対象となる米・畑作物の作付けを実施する農業者は、2月16日までにお近くの農協・集荷業者及び協議会に申し出て下さい。
 ※掲載内容は、現時点のものであり、今後、交付要件や交付単価等に変更が生じる場合もあります。
 ■問い合わせ先
 農業者戸別所得補償制度に関すること 東北農政局青森農政事務所地域第一課 ☎27・6180
 米の需給調整に関すること 弘前市水田農業推進協議会事務局(市農政課水田対策係) ☎35・1111(内線715・716)

— 環境にやさしい農業 —

「青森県特別栽培農産物」への 取組推進について



「青森県特別栽培農産物」とは、国のガイドライン及び県の要綱に基づき、

地域で慣行的に行われている栽培方法と比べ、化学合成農薬(マシン油乳剤や性フェロモン剤などは除く)と化学肥料(窒素成分量)の使用が5割以下で栽培さ

れたものをいいます。

環境や食に対する安全・安心への関心が高まる中、特別栽培の一層の推進を図ろうと県は12月20日、県武道館で栽培拡大に向けた研修会を開きました。

参加した人たちは、特別栽培への取組事例の紹介や県特別栽培農産物認証制度の概要説明などを熱心に聞いていました。

県では、特別栽培農産物の栽培に取り組んでみたい

方を対象に随時相談を受け付けております。お気軽にご相談ください。
■問い合わせ先 中南地域
県民局地域農林水産部農業普及振興室 ☎34・2136



研修会の様子



ホットアップル・ネット メンバー募集

ホットアップルジュース普及推進ネットワーク(略称:ホットアップル・ネット)では、「ホット」とい

う、りんごジュースの新たな飲み方や商品の普及に取り組まれる方(企業・団体・個人)を募集しています。

新しい商品を作りたい方、お店のメニューにちょっとした変化を加えたい方、お客様が喜ぶ「きっかけ」がほしい方・・・

そんな皆さん、りんごジュースを地域の資源として見直し、新たな飲み方で活用してみませんか。寒さが深まるこれからの季節。ホットで飲めば、体も心も温まります。

取り組みに参加したい、又は興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

■問い合わせ先 ホットアップルジュース普及推進ネットワーク(事務局・中南地域県民局地域連携部地域支援室 ☎32-2407)

◆◆◆ 市単独補助事業のお知らせ ◆◆◆

市りんご課では、下記の補助事業への申し込みを受け付けております。事業の活用をお考えの方は問い合わせください。申し込み締切り：2月18日(金)

■問い合わせ先 市りんご課生産振興係(岩木庁舎2階 ☎82-1636)

事業名	事業内容	補助対象経費	補助率
りんご園改植事業費補助金	りんご栽培農家、又は農業生産法人が市以外から補助金を受けずに、わい化への改植と新植に要する経費を補助します。	苗木代、支柱代、植穴・植栽費、土壌改良資材費等	1/2以内(上限は150,000円/10畝)

伝承の味を知ろう。

『ひろさき農業』体験ツアー

弘前市農村活性化推進協議会(会長・澁谷長生弘前

大学教授)主催による『ひろさき農業』体験ツアーの3回目「伝承の味を知ろう」が12月10日、市内大開の清水交流センターで開かれ、郷土料理の講習会が

行われました。

伝承の味を知る機会を農村女性との交流を通して提供しながら、地産地消を推進するツアーには14人が参加。講師には郷土料理講習



参加者たちに見入る会員の技

会などの活動を行う弘前地区生活改善グループ連絡協議会(清野優美子会長)の会員6人が招かれました。

この日のメニューは、けの汁、あんこうのとも和え、ごまごはんなど5品。参加者は4グループに分かれ、会員から「昆布をかくるあぶることでの汁の旨みが増す」などのアドバイスを受けながら手際よく仕上げ、出来上がった料理を試食し地元の食の豊かさを再認識していました。

講習前には清野会長の講話があり「伝承の味を伝えるとともに、若者向けにアレンジし普段から食べることも必要」と呼び掛けていました。

農業者年金受給における 農業所得申告名義について

農業所得の申告時期が近づいてきました。

後継者へ農業経営を移譲し、農業者年金の経営移譲年金を受給されている方は、農業所得にかかる申告を後継者名義で行う必要があります。

経営移譲年金受給者の名義で農業所得を申告した場

合、農業経営を再開したと見なされ、経営移譲年金が支給停止となりますので、確認の上で申告してください。(※老齢年金で受給されている方は、必要ありません。)

■問い合わせ先 農業委員会 農政係 ☎82・1638

りんご栽培講座

弘前市りんご公園では、りんご生産者を対象に初心者向けのりんご栽培講座を開催します。

- ◆日時…2月22日(火)～24日(木)
午前10時～12時
午後1時30分～3時30分
- ◆場所…りんごの家集会室・園地(りんご公園内)
- ◆募集人員…市内に居住するりんご生産者(初心者)30人(先着順)
- ◆講師…講座内容①・③・⑤…中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室職員
講座内容②・④・⑥…弘前市りんご公園専任指導員※②・④・⑥は天候などで変更することもあります。
- ◆受講料…無料 ◆申し込み…2月10日から受付

■問い合わせ先 弘前市りんご公園 ☎36-7439

日程	講座内容	
	午前	午後
22日(火)	①りんごの品種	②りんごづくり12か月
23日(水)	③りんごの病害虫防除	④剪定のはなし
24日(木)	⑤りんごの特別栽培・エコファーマー制度	⑥りんご剪定の実技

第10回食を考える集い



弘前と京都の相互交流から生まれた伝統野菜について、考えてみませんか。

◆とき 2月17日(木) 午後1時～午後3時半

◆ところ ホテルニューキヤッスル(上頓師町)

◆内容 テーマ「伝統野菜」
～弘前と京都の相互交流～

○講演
①講師：久保功氏(京都市在住・野菜文化史研究センター代表)
②講師：中村元彦氏(弘前市在住・在来津軽「清水森ナンバ」ブランド確立研究会会長)

○加工品等の試食

おつとつ剪定講習会

「温暖化に対応した高品質おつとつ生産のための剪定法」をテーマに剪定講習会を開催します。

◆日時 2月8日(火) 午前10時～11時30分

◆講師 井上輝雄氏(山形県)

◆参加料 無料

◆定員 150人(先着順)

■問い合わせ・申込み先

2月2日から電話で、弘前市農村活性化推進協議会事務局(市農政課内) ☎82・1635)へ。

◆集合場所 河東地区りんご施設駐車場(つがる弘前農協南支店) 9時45分集合

◆剪定会場 齊藤春雄氏園地(原ヶ平地区)

◆対象 果樹生産者

◆参加料 無料

※集合場所・会場等詳細についてはお問い合わせください。

◆問い合わせ先 市りんご課 ☎82・1636

農産物づくり講演会

弘前・岩木・相馬の各地域の認定農業者連絡協議会主催により、左記のとおり講演会が開催されます。

皆様の参加をお待ちしております。

◆日時 2月10日(木) 午後1時30分から午後4時

◆場所 岩木文化センター「あてべーる」(賀田一丁目)

◆講演会

講師：(株)渡辺採種場取締役販売部長 佐藤士郎氏
演題：「今年の天候と農産物づくり」

◆参加料 無料

◆問い合わせ先 市農政課 農業振興係 ☎82・1635

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧

「農業委員会委員選挙人名簿」は、みなさんの申請

に基づいて調製し、縦覧に供した後、3月31日に確定します。

◆縦覧期間 2月23日(水)～3月9日(水)

◆縦覧場所 市選挙管理委員会事務局(市役所新館6階)※ただし、土・日は1階警備員室

◆問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局 ☎35・129)

近年続く異常気象に備えて



りんご共済

『被害限定補償』



23年産申込み受け付け中!

- 【対象となる災害】…風害・ひょう害・凍霜害
 - 【対象となる割合】…2割～3割以上の被害から共済金が支払われます。(加入方式によって異なります)
 - 【農家負担額と補償額】…申込みは箱数単位となります。
 - ★農家負担額はおよそ1箱56円～90円
※『ふじ』の場合(品種・加入方式等によって異なります)
 - ★補償額は最高でおよそ1箱2,730円
※『ふじ』の場合(品種によって異なります)
 - 国が掛金の半分をあらかじめ負担!
 - 防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引!
 - 弘前市では農家負担額(賦課金を除く)の15%を助成いたします。
 - ★申込み締め切りは平成23年3月25日まで
- 詳しくは ひろさき広域農業共済組合まで ☎28-5700